

檣

自餘ノ舟共是ヲ見テ、サノミハ人ヲ乗セシト、纜ヲ解テ差出ス、乘殿レタル兵共、物具衣裳ヲ脱捨テ、遙ノ澳游出テ、船ニ取著ントスレバ、太刀長刀ニテ切殺シ、櫓カイニテ打落ス、

〔萬葉集〕二挽歌、天后○天智后御歌一首

鯨魚取、淡海乃海乎、奥放而榜來船、邊附而榜來船、奥津加伊、痛勿波禰曾、邊津加伊、痛莫波禰曾、若草乃孀乃、念鳥立、

〔新撰字鏡〕木、檣、佐平

〔倭名類聚抄〕十一舟具、檣、唐韻云、檣、音高、字亦作、棹、竿也、方言云、刺船竹也、

〔箋注倭名類聚抄〕三舟具、按、棹、卽、權字、與、檣、不同、此、作、棹、竿、恐、誤、○中、說、文、無、篙、檣、字、蓋、古、用、橐、橐、訓、木、枯、轉、注、竹、之、無、枝、葉、可、以、刺、船、亦、云、橐、後、省、木、從、竹、作、篙、又、增、木、作、檣、也、

〔干祿字書〕平聲、篙、檣、所、以、刺、船、上、通、下、正、

〔類聚名義抄〕八篙、音高、サ、ホ、

〔八雲御抄〕三下、雜物部、附、調度

棹、玄ひさは、椎木造たる也、舟棹也、

〔藻鹽草〕十七人事、雜物、井、調度、棹

玄ひさは、造事椎木手棹、船のきしるふ時、兩方よりみなれ棹、水馴棹、舟又、筏に云也、

〔倭訓栞〕前編十、さを、竿、檣、棹、字、など、を、よめり、釣竿、舟、棹、の、類、也、小尾の義成べし、和名抄に、榜、を、よ

み、童蒙頌韻に、檣、を、さ、を、さ、すと、よめり、

〔和漢船用具〕十一檣、川舟、池を渡り、江をのるには、水底泥にて、木の棹は、よろしからず、是に、竹竿

を用る也、

〔日本書紀〕三神武、其年○甲寅、十月辛酉、天皇親帥諸皇子舟師東征、至速吸之門、時有一漁人、乘艇而至、天